

2021年8月13日

岐阜県透析医会 会長 松岡哲平先生 より

■岐阜県感染対策推進課から情報提供が有りました。

『県内で、**新型コロナワクチン2回目接種後14日以上経過した透析患者**に、新型コロナ感染症例（break through 感染）が報告されている。ワクチン接種後に会食に参加した、家族が感染しての家庭内感染であった。

『また、ワクチン未接種医療従事者や break through した医療従事者が感染源となって、施設利用者に感染を広げる事例も発生している。

ワクチン接種後の感染症例は軽症・無症状な事が多く、透析患者に抗原検査をルーチンで行っている施設で感染が探知されている。』

以上より、

- ①患者・家族とも、ワクチン接種後も、マスク着用・手洗い・密の回避と言った**感染対策を十分**に行う必要が有ります。
- ② 流行地への旅行、流行地から家族の帰省なども、大変危険です。患者・家族とも、**県を跨ぐ移動は控えていただく**よう、お願いします。
- ③ 従来株と比較して、**デルタ株の初期症状は下痢や軽い咽頭痛が多く**、発熱・咳だけに注目していると落とし穴に陥る可能性があるため、消化器症状を含め何か**体調に変化が有れば透析日以外でも早急に主治医に相談**をお願いします。
- ④ ワクチン未接種者はワクチン接種を**家族とも再検討するよう**、お願いします。
- ⑤ 抗体検査については、今後の検討課題としてあります。
- ⑥ 軽い症状でもすぐに主治医に報告するように、会員のみなさまにお伝えください。

2021年8月17日

NPO 岐阜県腎臓病協議会

会長 大橋 廣義

事務局長 高田 裕二